

揺れに備える

あなたの家は安全ですか？

今日からできる防災ワンポイント！

家具を固定する前に、まず家具を倒れても心配のない場所へ移動しさらに軽いものは上に、重たいものを下に配置換えし、タンスの一番下には水のペットボトルや缶詰などを詰めれば、備蓄と重しを兼ね備えた防災備蓄スペースになります。



これだけで転倒がグッと減ります！まずは、今日、すぐにできることからやってみませんか

屋内の安全対策

1. 家の中に逃げ場としての安全な部屋をつくる。

- 家の中で、なるべく物を置かない安全な部屋を作っておきましょう。



2. 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない。



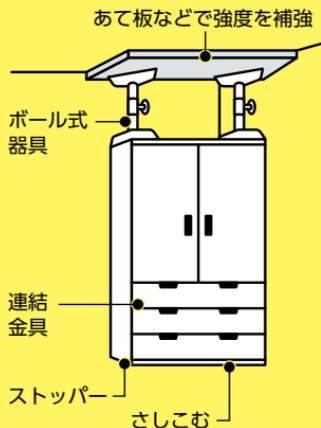
3. 安全に避難できるように出入口や廊下に物を置かない。



4. 家具類のレイアウトを工夫したら、器具による家具の転倒・落下・移動防止対策を行う。

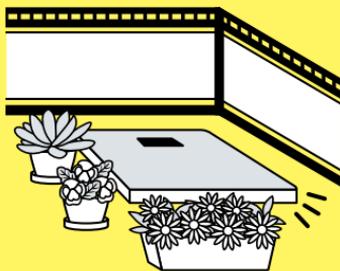
- L字金具、支え棒などの転倒防止金具で家具と壁を固定するのが基本です。

※詳しくは、東京消防庁の「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参考にしてください。



5. 集合住宅の対策。

- 入り口、通路は避難通路となるので、自転車や物を置かない。
- ベランダに設置してある非常脱出口の周りや上に物を置かない。



屋外の安全対策

地震が起きたとき、ガラスの破片、ブロック塀等の落下物などで被害にあうことがあります。被害を最小限にとどめるために、次のことに注意しましょう。

屋根の点検

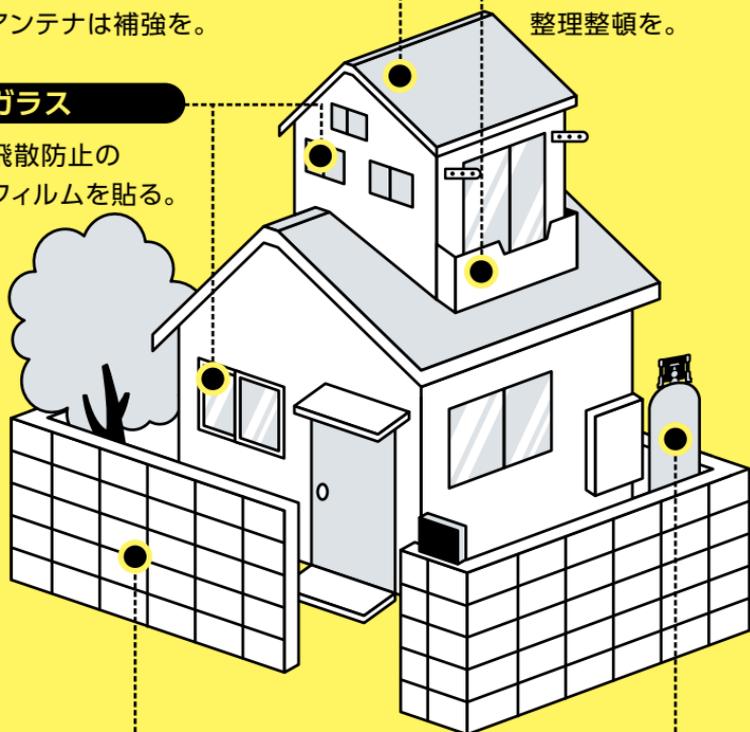
不安定な瓦やアンテナは補強を。

ベランダの点検

植木鉢などの整理整頓を。

ガラス

飛散防止のフィルムを貼る。



ブロック塀などの安全対策

土中に30センチ以上の基礎部分がないもの、鉄筋が入っていない物は危険。しっかり補強を。

プロパンガス

プロパンガスボンベを鎖でしっかり固定。